

番号	課名
B - 1	市民課

事務事業名	交通安全施設整備事業		新規・継続・単年	継続
			ソフト・ハード	ハード
総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	VII-21-51	交通安全対策の推進	
	施策の課題(事務事業の実施目的)	市民の市道通行時の安全の確保		
	関連施策名(施策コード)	VI-17-36	適正な道路整備及び維持管理の推進	

事業内容(経緯)	市内には、幅員が狭く車両と歩行者の距離が近い道路、見通しの悪い交差点やカーブなど、通行に危険な箇所が多くあります。そのため交通安全施設に対する要望は毎年多く寄せられているのが現状です。本事業は、市民の安全確保のために、その要望に基づき市道などにカーブミラー、ガードレールなどの交通安全施設を設置するものです。			
----------	--	--	--	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	① 設置箇所数	施設の設置を行った箇所数	箇所	21	28	21	21	29
	②							
	③							
④								

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	交通安全施設1件当たりの設置費用					
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	年間工事費/年間設置箇所数				
	8,979	9,111	内容	工事請負費	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	一般財源			428.3	321.2	427.5	421.6	413.8

事業対象	道路利用者	今年度の成果	令和5年度は、21箇所にカーブミラー、ガードレールなどの交通安全施設を設置したことで、交通の安全性を向上させることができ、重大事故の未然防止及び再発防止を図りました。
------	-------	--------	---

成果指標	指標名	要望に応じた安全性の向上	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	交通安全施設整備による安全性の向上		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	交通事故の未然防止		○	○	○	○	○

評価	有効性	効率性	評価の理由	
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	重大な交通事故の防止を図り、併せて円滑な道路交通や安全性の向上につなげることができている。また、現地(道路の線形、状態)を確認したうえで、最も効率的かつ効果的に安全を確保できる規格で交通安全施設の設置を行っている。	

事業の問題・課題	新規要望の件数が多く、なかには事業規模が大きいものもあり、緊急性・優先度が高い箇所以外は、実施するまでに数年かかっています。	目標達成に向け、次年度以降の取組	予算規模の拡大により、効果的、広範囲で事業を展開し、早期解決に向けた対応を図っていきます。危険箇所の要望対応は、さまざまな手法を検討することにより、適切な交通安全施設を設置していきます。また、施設整備のみならず市民の交通安全意識の向上を図れるよう啓発や教育などにも力をいれ、相乗的な効果を得られるよう、本事業を推進していきます。
----------	--	------------------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	やや遅延	貢献度 中	向上
施策に対する貢献度が大きく、効果と効率性があるため、現状の通り今後も事務事業を維持向上します。			

臼杵市 事務事業評価シート

(令和5年度実施事業)

番号	課名
B - 2	環境課

事務事業名	広域ごみ処理事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画 (施策評価) との関連	施策名 (施策コード)	VII-20-46	ごみの適正処理・減量化の推進
	施策の課題 (事務事業の実施目的)	ごみの排出抑制及び適正処理の推進、一般廃棄物(ごみ)広域処理の検討	
	関連施策名 (施策コード)	-	-

事業内容 (経緯)	臼杵地域での可燃ごみ処理を焼却施設のある大分市との協定に基づき竹田市、由布市を含めた4市で広域処理しています。野津地域では、一般廃棄物の全てを豊後大野市との協定に基づき処理しています。また、ごみの減量化に向け、市報やごみ収集カレンダー、ごみ分別事典等の広報・啓発活動を行いました。			
--------------	--	--	--	--

行動指標 (実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 計画
①	可燃ごみ処理量(臼杵地域)	大分市への可燃ごみ搬入量	t	9,172	9,058	8,985	8,410	9,046
②	ごみ処理量(野津地域)	豊後大野市へのごみ搬入量	t	1,610	1,497	1,472	1,489	1,569
③								
④								

基本項目 コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	ごみ 1t当たりの処理費用(千円)				
	前年度 (R4)	当該年度 (R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	委託費含む総事業費/ ごみ処理量			
	240,302	237,686	内容	委託料、負担金等	数値の推移	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 計画
			財源	一般財源		19.2	20.9	23.0	24.0	22.7

事業対象	市民・事業者	今年度の成果	ごみ減量化に対する市民への普及啓発として、臼杵地域では、ごみ収集カレンダーにごみにまつわるクイズや情報等を掲載し、意識啓発を図りました。
------	--------	--------	--

成果指標	指標名	広域ごみ処理に係る経費	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	大分市、豊後大野市の清掃工場運営管理費等		R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 計画
	指標設定の理由	施策・事務事業の費用対効果の検討をする際の参考数値とします。		千円	207,320	220,462	240,302	237,686

評価	有効性	効率性	評価の理由
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	B A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	適正にごみを処理することで、衛生的で快適な生活を送ることができます。4R(リフューズ:発生回避、リデュース:減量、リユース:再利用、リサイクル:再資源化)等への意識高揚を促すことでごみの減量が図られ、経費の削減につながると考えます。

事業の問題・課題	ごみを排出する側の分別意識の高揚や理解、協力が不可欠です。また、清掃工場の長寿命化のための大規模改修などにより、ごみの減量化が図られたにも関わらず経費が膨らむ可能性もあります。	目標達成に向け、次年度以降の取組	4Rや分別意識の高揚による経費削減を図るため、市報やごみ収集カレンダー、ごみ分別事典での広報に加えて、学校での環境教育や臼杵市清掃センターの見学などを推し進めることにより、引き続き啓発に努めます。
----------	--	------------------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 中	強化 施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。

白杵市 事務事業評価シート

(令和5年度実施事業)

番号	課名
B - 3	環境課

事務事業名	廃棄物処理事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	VII-20-46	ごみの適正処理・減量化の推進
	施策の課題(事務事業の実施目的)	限られた予算で効果的に老朽化の進んでいる清掃センターの施設を維持・管理・運営する	
	関連施策名(施策コード)	-	-

事業内容(経緯)	ごみ処理施設の適正な管理運営に努め、処理体制の充実を図り、環境に配慮しながら、ごみ処理施設の長寿命化を図る事業です。				
----------	--	--	--	--	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	ごみ処理量(白杵地域)	搬入されたごみの量	t	7,462	7,182	7,065	6,616	7,000
②	最終処分場からの排水の水質	河川へのダイオキシンの排出濃度(国基準:10pg-TEQ/L 以下)	pg-TEQ/L	0.000016	未検出	未検出	未検出	0.00001
③								
④								

基本項目	コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	ごみ処理単価(1kg当たり、単位円)				
		前年度(R4)	当年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	ごみ処理に要する経費÷ごみ処理量			
	162,839	161,893	内容	工事費等	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	一般財源、地方債			20.0	22.4	23.0	24.5	24.0

事業対象	白杵地域の市民、事業者	今年度の成果	施設整備工事について5か所実施しました。また、老朽化の進んだ2tダンプ車を1台更新しました。
------	-------------	--------	--

成果指標	指標名	白杵地域の人口一人当たりのごみ発生量(kg)	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	ごみ発生量/人口		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	客観的に一人につき、年間どれくらいごみが発生しているか把握するため	千円	247	242	243	230	220

評価	有効性		効率性		評価の理由				
	A	A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	B	A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	市報やごみカレンダー等を通してごみ削減の啓発活動を実施していますが、人口一人当たりのごみ発生量が減少傾向にあり、着実に改善されてきています。				

事業の問題・課題	ごみ削減のためにごみカレンダーやごみ分別事典や市報、また清掃センターでの見学会等を通して啓発活動を根気よく継続していく必要があります。	目標達成に向け、次年度以降の取組	子供から大人まで全ての方に分かりやすい、ごみ分別等の啓発活動のために資料の見直しなど進めていきます。
----------	---	------------------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針	
	順調	貢献度 中	強化	施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。

臼杵市 事務事業評価シート

(令和5年度実施事業)

番号	課名
B - 4	環境課

事務事業名	し尿処理事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画 (施策評価) との関連	施策名 (施策コード)	VII-20-46	ごみの適正処理・減量化の推進
	施策の課題 (事務事業の実施目的)	ごみの排出抑制及び適正処理の推進、一般廃棄物(し尿)広域処理の検討	
	関連施策名 (施策コード)	-	-

事業内容 (経緯)	公共下水道終末処理場の施設を使用して、臼杵地域の汲取りし尿、浄化槽汚泥を共同処理する事業です。			
--------------	---	--	--	--

行動指標 (実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 計画
①	前処理施設処理量	前処理施設へのし尿等搬入量	kL	12,728	12,663	12,804	12,759	12,660
②	前処理施設の稼働率	前処理施設の稼働率	%	100	100	100	100	100
③								
④								

基本項目 コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	し尿等 1kL当たりの処理費用(千円)					
	前年度 (R4)	当該年度 (R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	委託費含む総事業費/し尿等処理量				
	35,984	40,242	内容	委託料等	コスト指標 (単位当たりの費用)	数値の推移	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 計画
			財源	一般財源			4.4	3.1	2.8	3.2	3.1

事業対象	臼杵地域の市民・事業者	今年度の成果	設備改良工事により、効果的な施設維持管理が行えるようになったため、し尿処理施設を新設することなく、経費の節減を図ることができました。
------	-------------	--------	--

成果指標	指標名	し尿処理事業に係る経費	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	し尿等前処理施設の運転管理費等		R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 計画
	指標設定の理由	施策・事務事業の費用対効果の検討をする際の参考数値とします。		千円	56.481	39.038	35.984	40.242

評価	有効性	効率性	評価の理由				
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	B A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	適正に、し尿を処理することで、衛生的で快適な生活を送ることができます。行政資源量に対し合った効果はあるものの、平成17年6月竣工した施設の機能や能力を長期間維持させるために、計画的な修繕等の対応が必要となります。				

事業の問題・課題	施設稼働後10年以上経過しており、今後修繕費等経費の増加が懸念されます。	目標達成に向け、次年度以降の取組	必要な修繕を行いながら、効果的な施設維持管理を行います。長期計画(10年)に基づき今後も全体の事業量を見ながら適切かつ効率的な管理を行います。
----------	--------------------------------------	------------------	---

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針	
	概ね順調	貢献度 中	強化	施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。

番号	課名
B - 5	環境課

事務事業名	広域し尿処理事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	VII-20-46	ごみの適正処理・減量化の推進
	施策の課題(事務事業の実施目的)	ごみの排出抑制及び適正処理の推進、一般廃棄物(し尿)広域処理の検討	
	関連施策名(施策コード)	-	-

事業内容(経緯)	豊後大野市との協定に基づき行っている、野津地域のし尿処理事業です。野津地域のし尿処理は、「白鹿浄化センター(豊後大野市)」にて豊後大野市と共同で処理を行っています。
----------	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	し尿処理量	豊後大野市へのし尿搬出量	kl	1,815	1,803	1,907	1,803	1,853
②	前処理施設の稼働率	前処理施設の稼働率	%	100	100	100	100	100
③								
④								

基本項目	コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	し尿等 1kl当たりの処理費用(千円)				
		前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	委託費含む総事業費/し尿等処理量			
		35,537	41,888	内容	委託料、負担金等	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
		財源	一般財源	コスト指標(単位当たりの費用)	11.7		14.5	18.6	23.2	15.1	

事業対象	野津地域の市民・事業者	今年度の成果	主要設備の老朽化等施設維持管理に伴う経費増加が予想される中、可能な限り効率的かつ効果的な事業運営が行えるよう、また、将来的な広域し尿の在り方等について豊後大野市と協議・検討を行いました。
------	-------------	--------	---

成果指標	指標名	広域し尿処理に係る経費	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	豊後大野市の白鹿浄化センター運営管理費等		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	施策・事務事業の費用対効果の検討をする際の参考数値とします。	千円	21,291	26,084	35,537	41,888	27,971

評価	有効性	効率性	評価の理由
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	B A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	適正にし尿を処理することで、衛生的で快適な生活を送ることができます。施設の長期間維持及び更なる経費節減に向けて委託先である豊後大野市と検討を行います。

事業の問題・課題	白鹿浄化センターは平成15年3月より稼働しており、主要設備の老朽化等施設維持管理に伴う経費増加が予想されます。	目標達成に向け、次年度以降の取組	効率的な運営ができるように、主要設備老朽化等の施設改修及び監理体制等について引き続き豊後大野市と協議・検討を行います。
----------	---	------------------	---

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 中	見直し

事業の効果はありますが、施策への貢献度が小さいため、貢献度に応じたものになるよう事務事業を見直します。

臼杵市 事務事業評価シート

(令和5年度実施事業)

番号	課名
B - 6	環境課

事務事業名	各種リサイクル事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画 (施策評価) との関連	施策名 (施策コード)	VII-20-46	ごみの適正処理・減量化の推進
	施策の課題 (事務事業の実施目的)	ごみの分別方法等の啓発を通して再資源化(リサイクル)出来るものは積極的に資源の有効活用をする	
	関連施策名 (施策コード)	VII-20-47	CO2削減に向けたまちづくりの推進

事業内容 (経緯)	各種リサイクル法に基づき、ごみの減量化とリサイクルを推進しています。各品目ごとにリサイクル業者への委託による処理(圧縮・梱包等)、再生処理業者への引き渡し、資源として売却等の処理をしています。			
--------------	--	--	--	--

行動指標 (実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 計画
①	再資源化量(プラスチック製容器包装・ペットボトル)	処理業者引渡数量	t	201	202	189	191	220
②	再資源化量(紙類・缶及びその他金属・自転車)	処理業者引渡数量	t	787	719	630	555	800
③	再資源化量(ガラス瓶・蛍光灯・乾電池・電気製品)	処理業者引渡数量	t	238	203	278	224	250
④	有価ごみ(古紙・金属)売却収入	有価ごみを資源として業者に売却する金額	千円	15,364	25,195	29,500	23,688	29,000

基本項目 コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	資源化するために必要な経費(圧縮・梱包等)(1kg当たり、単位円)					
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	$(\text{資源化に要する経費} - \text{有価ごみ売却収入}) \div \text{資源化量}$				
	64,716	63,057	内容	委託料	コスト指標 (単位当たりの費用)	数値の推移	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 計画
			財源	一般会計財源			32.5	26.2	32.1	40.5	35.0

事業対象	臼杵地域の市民	今年度の成果	ごみとして排出された総量約6,616tの内、約972tを再資源化(リサイクル)することが出来ました。
------	---------	--------	--

成果指標	指標名	ごみの資源化率	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	資源化量/全ごみ搬入量		R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 計画
	指標設定の理由	ごみとして排出されるもので再資源化(リサイクル)される割合を客観的に把握するため	%	16.46	15.67	15.54	14.69	18.00

評価	有効性	効率性	評価の理由				
	B A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	B A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	ごみの中から再資源化可能なものを積極的にリサイクル・有価ごみ収入とすることが出来ました。ごみの資源化率が悪化傾向にあります。今後も次の世代に貴重な資源を引き継いでいくことの重要性を継続的に啓発する必要があります。				

事業の問題・課題	資源化するために要する経費について人件費の高騰などにより増加傾向にあります。その一方でごみの資源化率が悪化傾向にあることが問題だと考えています。	目標達成に向け、次年度以降の取組	分かりやすい説明によるリサイクルに向けた啓発活動や清掃センターでの見学会を引き続き実施していきながらごみ問題について啓発活動を深めていきます。なぜリサイクルすることが重要なのかといった環境問題を広く周知していきます。
----------	--	------------------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針	
	順調	貢献度 中	強化	施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。

番号	課名
B - 7	環境課

事務事業名	清掃センター周辺環境整備事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ハード

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	I-1-1	生涯を通じた健康な生活習慣の推進
	施策の課題(事務事業の実施目的)	「健康寿命を延ばすための取り組み」を主な目的に、「市民の健康づくり」「高齢者の生きがいづくり」「スポーツ振興」「コミュニティづくり」を推進するためのパークゴルフ場の整備	
	関連施策名(施策コード)	I-3-6	高齢者の生きがいづくりへの支援
		V-13-29	スポーツで健康づくり・体づくり

事業内容(経緯)	平成16年に閉鎖された旧不燃物最終処分場については、「閉鎖後の跡地及び周辺環境については、多目的広場及び公園等として整備を行う。」という地元との契約に基づき、令和2年1月、地元より正式に「パークゴルフ場の整備」について要望が提出されました。この要望を受け、跡地利用については地元との約束を履行しつつ、市民の健康づくり、高齢者の生きがいづくり、地域の活力創生等に資する施設としてパークゴルフ場を整備することとしました。
----------	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	パークゴルフ場整備費用	施設整備費用	千円	2,310	14,676	102,508	179,927	5,715
②	運営及び利活用に関する協議	地元及び愛好者団体、関係団体との協議	回	3	4	6	10	10
③								
④								

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	-					
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	-				
	102,508	202,497	内容	パークゴルフ場施設整備		数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
		財源	地方債	-	-		-	-	-		

事業対象	全市民及び市外のパークゴルフ愛好者 ※市内に関しては、特に健康増進を目的とした市民	今年度の成果	施設整備工事(造成工・管理棟新築工・給水工・造成工付帯工事)のうち、付帯工事の一部以外は全て完了しました。
------	--	--------	---

成果指標	指標名	パークゴルフ場整備進捗率	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	各年度の整備進捗率(現在の進捗月数/全工程月数)		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	パークゴルフ場の設備完成が目的であるため		%	10.00	38.46	60.00	86.67

評価	有効性	効率性	評価の理由				
	A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	B:改善の余地あり C:効率性が低い	有効性については、パークゴルフを通して、健康づくり、生きがいづくり等を推進することによって、市民の健康寿命を延ばすことに繋がると考えます。効率性については、長年の地元との約束の履行という側面を持つ施設の整備であるため、コスト等の効率のみで計ることのできる性質の事業ではありませんが、市民の健康増進や生きがいづくり等、他の施策とタイアップすることにより間接的に、医療費削減等相乗効果が期待できます。市として初めての事業となるため慎重に整備手法を検討してきましたが、大きなスケジュールの遅延はありませんが、芝の生育状況については天候に左右されたため予定より遅れています。				

事業の問題・課題	より多くの方に利用してもらうにはどうすればよいかという点が最も大きな課題と捉えており、運用開始前よりそのための取り組みが重要であると考えています。また本施設は比較的交通の便が良くない立地なので、高齢者の利用促進についても課題と捉えています。	目標達成に向け、次年度以降の取組	スポーツ施設としてのパークゴルフ場だけではなく、健康づくり、高齢者の生きがいづくり等他の施策との連携は必須であるため、庁内の関係課による、利用促進のための組織が必要であると考えます。また、愛好者団体等、関係団体との連携を軸に愛好者を増やす仕組みを作ります。整備はほぼ完了しており、芝の生育状況をみながら可能な限り早期のオープンを目指します。
----------	--	------------------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針	
	概ね順調	貢献度 中	向上	施策に対する貢献度が大きく、効果と効率性があるため、現状の通り今後も事務事業を維持向上します。

番号	課名
B - 8	部落差別解消推進・人権啓発課

事務事業名	男女共同参画推進事業		新規・継続・単年	継続
			ソフト・ハード	ソフト
総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	V-16-34	人権意識の高揚	
	施策の課題(事務事業の実施目的)	男女共同参画に関する教育・啓発の充実を図り、人権意識の向上をめざす		
	関連施策名(施策コード)	VII-21-53	虐待(DV・子ども・高齢者・障がい者)予防・対策	

事業内容(経緯)	男女共同参画の推進のため、講演会やセミナー、パープルリボン(女性に対する暴力をなくす運動)等の各種啓発事業、方針決定の場への女性登用率の向上やDV相談対応等に取り組みました。
----------	---

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	推進懇話会実施回数	推進懇話会の開催回数	回	3	3	3	4	4
②	企業・公共機関啓発の訪問件数	訪問件数	件	73	71	73	70	60
③	審議会等における女性の登用	女性委員/全審議会委員	%	31.8	29.4	33.6	36.0	40.0
④	男女共同参画セミナー回数	セミナー開催実数	回	4	3	4	5	4

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	男女共同参画講演会の参加者1人当たりのコスト				
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	事業費/参加者数(少数点以下第1位四捨五入)			
	1,396	4,620	内容	男女共同参画推進費	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	一般財源		-	-	5,312	14,000	8,951

事業対象	市民、団体、事業所	今年度の成果	6月の男女共同参画講演会は野津公民館で実施し、後日ケーブルテレビで放送することで広く市民に啓発しました。セミナーでは事業所向けセミナーを予定より多く実施することができました。
------	-----------	--------	---

成果指標	指標名	男女共同参画講演会の参加者数	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	講演会の参加人数		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	講演会参加により啓発効果が見込まれるため		中止	中止	263	330	800

評価	有効性	効率性	評価の理由	
	A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	今年度実施した「男女共同参画社会づくりのための意識調査」において、「男は仕事、女は家庭」のように「固定的性別役割分担」の考え方に関する数値は前回調査から改善がみられました。一方で、個別の質問事項では課題もわかり、講演会やセミナー等、あらゆる場面で様々な機会を活用して、効率的な啓発活動を行う必要があります。	

事業の問題・課題	男女共同参画の推進は幼児教育の段階から発達に応じた教育の充実や家庭教育による意識の醸成が重要です。従来の手法に加え、新しい手法も取り入れながら、市民への啓発をさらに強化して行う必要があります。	目標達成に向け、次年度以降の取組	公民館の家庭教育学級やこども園・小中学校等と連携した啓発や強化期間の実施など様々な機会を通じた啓発活動を積極的に取り組みます。
----------	--	------------------	---

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針	
	順調	貢献度 大	強化	施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。

臼杵市 事務事業評価シート

(令和5年度実施事業)

番号	課名
B - 9	部落差別解消推進・人権啓発課

事務事業名	人権・部落差別問題啓発事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	V-16-35	同和問題(部落差別問題)に対する正しい理解
	施策の課題(事務事業の実施目的)	部落差別解消推進法の効果的な周知及び関係機関と連携した人権啓発	
	関連施策名(施策コード)	V-16-34	人権意識の高揚

事業内容(経緯)	臼杵市部落差別解消推進・人権教育啓発推進協議会や臼杵市人権擁護委員等、関係機関・団体と連携し、大規模講演会、企業・団体・地域の研修、企業啓発訪問など、あらゆる機会を通じて、啓発や学習の場に継続して参加していただくことによって、市民の人権尊重意識の高揚に努めます。
----------	---

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	人権・部落差別問題講演会(8月)の参加者	講演会参加人数	人	-	-	342	504	700
②	人権問題講演会(12月)の参加者	講演会参加人数	人	-	300	263	471	700
③	企業・団体研修会の開催回数	研修会実施回数	回	12	30	28	30	40
④	企業・公共機関啓発の訪問件数	訪問件数	件	73	71	73	70	60

基本項目 コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	大規模講演会や各学区の中規模講演会の参加者1人当たりのコスト				
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	事業費/参加者数(少数点以下第1位四捨五入)			
	6,139	5,561	内容	人権啓発推進事業費	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	県支出金		74,341円	7,795円	4,971円	3,902円	3,000円

事業対象	市民、団体、事業所	今年度の成果	コロナ禍以降、地域交流講演会の開催数が減少していましたが、全体として、コロナ禍での制限がなくなったため、講演会への参加者数が増加しました。 大規模講演会:975人 地域交流講演会:265人
------	-----------	--------	---

成果指標	指標名	大規模講演会や各学区の中規模講演会の参加者数	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	8月・12月講演会・学区規模の地域交流講演会の参加者数		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	人権尊重意識が高まると、講演会・学習会に出向く市民が増えると考えため	人	85	721	1235	1240	1800

評価	有効性	効率性	評価の理由	
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	昨年まではコロナ禍での制限があったため、企業への啓発を郵送で行っていましたが、今年度は対面での訪問啓発が実施でき、人権擁護委員等と連携して直接説明することにより、啓発効果があがりました。	

事業の問題・課題	インターネット上の人権侵害や性的少数者をめぐる人権問題など新たな人権課題に対応した啓発事業の実施など、内容についても最新の情報を交えながら取り組む必要があります。また、各企業や団体に働きかけ、多くの市民に講演会やイベント会場に来ていただくことが大事です。	目標達成に向け、次年度以降の取組	部落差別問題をはじめとする人権問題を取り巻く状況は、常に変化しているため、最新の情報を取り入れながら、あらゆる場面を通じて繰り返し啓発していきます。
----------	---	------------------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 大	向上
施策に対する貢献度が大きく、効果と効率性があるため、現状の通り今後も事務事業を維持向上します。			